

**Q** 自殺を減らすための市の方策はどんなものがあるか

**A** 講演会の開催や、専門家による健康相談を行っている

角田 義徳

**Q** メガソーラー発電の収益は20年でどの程度になるのか

**A** 約13億円の見込みである

村川 徳浩

**Q** 市内の自殺者の過去5年間の人数と自殺の主な理由は何か。

**A** 平成23年41人、平成24年30人、平成25年35人、平成26年27人、平成27年31人と減少傾向である。自殺の主な原因は平成27年の埼玉県警察統計によると健康問題67・9%、経済・生活問題11・8%、家庭問題7・8%である。

**Q** 残された家族への対応や支援をどのようにしているか。

**A** 平成25年には講演会を実施した。今後も個別に相談いただいた場合は、県の自死遺族相談窓口の紹介や保健師による相談支援等を実施したい。

**Q** 学校での「命を大切に」する教育について教えてほしい。

**A** 自らの生命の大切さを自覚し、しっかりと生きていこうとすることを一人一人の子供たちに染み入る学習をとおして行い、生命尊重・生命に対する畏敬の念などを培っている。

**Q** 熊谷市や行田市ではNPO法人くまがやピンクリボンの会が「いのち」生命の授業を取り入れているが。



**A** 東都医療大学等との連携も考えながら検討していきたい。

**Q** プレミアム商品券について

**A** 一年経ったが、検証の結果どのような経済効果があったか知りたい。

**Q** 推奨される消費喚起総額は、およそ7億9000万円であり、これは国や県が投資したプレミアム分2億4000万円のおよそ3.3倍である。

**A** 今後も同様の事業を行うのか。市の単独実施は考えていない。

**Q** 太陽光パネルは最終的には産業廃棄物として処理されるが、処分費用についてどう考えているのか。

**A** リサイクルの推進及び施設の解体や大規模改修時に併せ処分を行うなど、処分費用削減に努める。

**Q** 浄化センターに設置されたメガソーラー発電の売電先が株式会社エフパワーに変更になったが、どのような契約なのか。東電と比較してリースはないのか。

**A** 売電単価が1キロワット時(税抜)36円のところ37・7円となり、契約期間は3年間である。リースについては債務不履行時には契約を解除し、東電と再契約をするため36円は確保できる。

**Q** メガソーラー発電で得られる収益は20年間でどの程度になるのか。

**A** 平成27年度の実績ベースで考えると約13億円になる。

**Q** 収益は下水道事業会計に入るが、特定の人にしか還元されないということにならないか。



浄化センターのメガソーラー

**A** メガソーラーは下水道事業の資金で、国の補助事業で取得した用地に設置したことから、収益は下水道事業の維持管理費に充てることができる。

**Q** 新規に公共施設を建てる場合、屋根貸しを検討してはどうか。

**A** 国は、エネルギー基本計画などにおいて、ゼロエネルギービルを目指すとしていることから、公共施設においては、自ら設置する方向で検討している。

## 議会運営

● 視察先  
三重県四日市市

● 議員長  
仲田 稔

● 議会改革と議会運営の改善について

四日市市議会では、通年議会を採用し、議長の権限で休会中でも会議の再開が可能である。これにより、災害時等に俊敏な対応ができる。さらに、市議

会モニター制度を設け、本会議や委員会を傍聴してもらい意見を求めている。

また、議場に大型スクリーンを設置し、議員にタブレット端末の配付を行うなどペーパーレス化を推進している。

● その他の視察先  
議会基本条例について  
岐阜県多治見市



10.31~11.1  
四日市市議会議長より説明を受ける

## 福祉文教

● 視察先  
五間 くみ子

● 視察先  
長野県伊那市

● 幼保小連携プログラム

教育現場で問題とされている「小一プログラム」の解決には、家庭から幼保、小学校へと大きく変化をすることで私たちを、連続し、かつ一貫して育ちを見て

いくことが重要となる。幼児期・学童期の学び方に違いがあることを踏まえ、それらを円滑に接続するために、伊那市においては、地域性を考慮し、幼稚園・保育園と小学校それぞれにおいて、カリキュラムの作成をして幼保小の連携を進めている。

● その他の視察先  
健康寿命延伸都市の取組について  
長野県松本市 他



10.4~10.6  
松本市健康づくり課長より説明を受ける

## 視察報告

## 総務

● 視察先  
京都府京丹後市

● 視察先  
京都府京丹後市

● 地方創生 総合戦略とその進捗管理

全国各市町村において「まち・ひと・しごと地方版総合戦略」が策定され、地方創生に向け様々な取り組みが始められている。高い目標を掲げ、独

自色が強い計画が全国から注目された京丹後市だが、その進捗管理について視察研究した。野心的な目標と計画であり、進捗管理には慎重さと、事業ごとのブラッシュアップ作業は今後、深谷市の総合戦略進行に参考となるものがある。

● その他の視察先  
鬼怒川水害対応に関する検証報告書について  
茨城県つくば市 他



10.11~10.13  
つくば市防災科学技術研究所 大型降雨実験 見学

## 産業建設

● 視察先  
為谷 剛

● 視察先  
広島県呉市

● 夢づくり地域協働プログラムに基づく自主的で自立した地域活動の支援について

人口に応じた金額の使用に定めない交付金を交付し、それぞれの地域ごとに自主的

活発な地域活動を促し、地域力の向上により市全体の活力向上を目指す。最初のうちはヤル気があつて、それなりに成果を残すことができるかもしれないが、モチベーションを維持し続けることは難しいのではない。

● その他の視察先  
道の駅ソレーネ周南の運営・概要について  
山口県周南市 他



10.3~10.5  
道の駅ソレーネ周南